

CONTENTS

ARIC情報



■表紙写真

「つなぐ棚田遺産」；「栃倉の棚田」と日本の原風景について
(長野県長野市)

今号の表紙写真は、伊折の棚田を守る会が中心となり農地や水路・農道等の維持・管理活動を定期的に行っている、棚田百選及びつなぐ棚田遺産に認定された「栃倉の棚田」です。

「栃倉の棚田」や棚田地域における企業連携をご紹介した「行政の動き」「表紙コラム」「つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター制度」と併せてご覧ください。

本誌の中での農林水産省職員の投稿文の内容や意見は、執筆者個人に属し、農林水産省の公式見解を示すものではありません。

- 01 ● 巻頭言**
農村デジタルツインの可能性02
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
農村工学研究部門 所長 渡嘉敷 勝
- 02 ● トピックス**
愛知県田原市の農業について04
田原市役所農林水産部 技監 柿崎新之助
- 03 ● 行政の動き**
棚田地域における企業連携10
農林水産省農村振興局農村政策部地域振興課 山崎 拓人
- 04 ● 研究レポート**
圃場整備前後におけるドローンセンシングの活用
— 営農・維持管理に活用可能なデータを取得できる
ドローンセンシングのタイミング —14
農研機構農村工学研究部門 栗田 英治
- 05 ● 事業紹介**
国営かんがい排水事業
「吉野川北岸二期地区」の概要
— 農業用水の安定供給、営農転換の推進、
維持管理の軽減、耐震化による安全性向上 —18
中国四国農政局吉野川北岸二期農業水利事業所 所長 児島 学
- 06 ● 「施工動画！」ほ場整備工事編新規リリース**
（一財）経済調査会が提供する土木技術の教育用動画ラインナップ24
一般財団法人経済調査会 寺村 伸一
- 07 ● 令和4年度 ARIC セミナー**
「省力化に役立つ情報化施工等
～農林水産省の最新情報や事例等を中心に～」を開催26
（一社）農業農村整備情報総合センター
- 08 ● 疏水フォーラム in 常西用水 2023 疏水の今そして未来へ28**
- 09 ● 未来へつなごう！ふるさとの水土子ども絵画展 202329**
- 10 ● 書籍『日本は食料危機にどう備えるか』ご紹介33**
- 11 ● 令和5年度定時総会を開催 - DXの取組を進める -34**
（一社）農業農村整備情報総合センター
- 12 ● 編集後記35**
- 13 ● 「つなぐ棚田遺産」オフィシャルサポーター制度36**
- 14 ● 表紙コラム**
「つなぐ棚田遺産」；「栃倉の棚田」と日本の原風景について37
(長野県長野市)